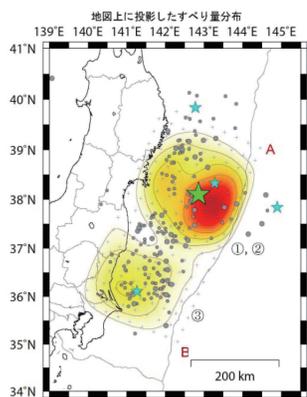
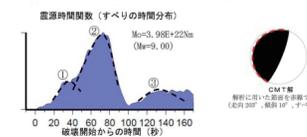


遠地実体波のインバージョン

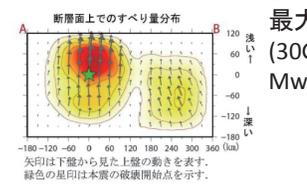
気象庁



地図上に投影したすべり量分布

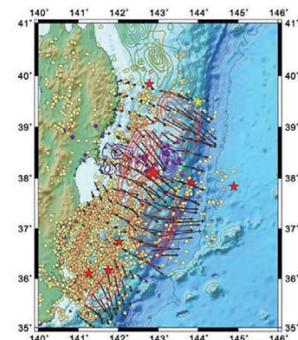


震源時間関数 (すべりの時間分布)

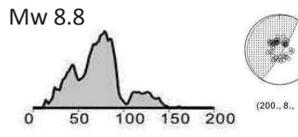


断層面上でのすべり量分布

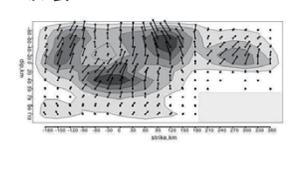
名古屋大学



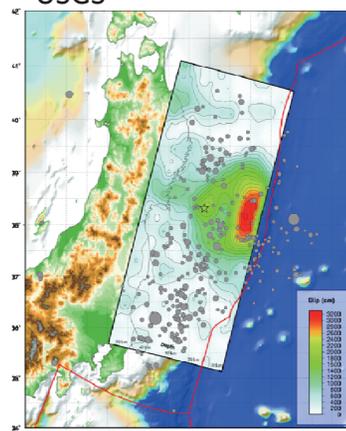
120sまで
震源北東・南東の海溝付近で最大
Mw 8.8



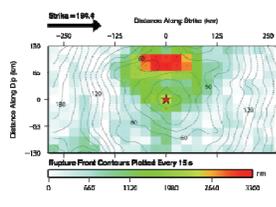
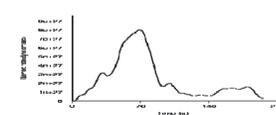
160sに3つの破壊
最大: 30m
(30GPa)
Mw 9.0



USGS



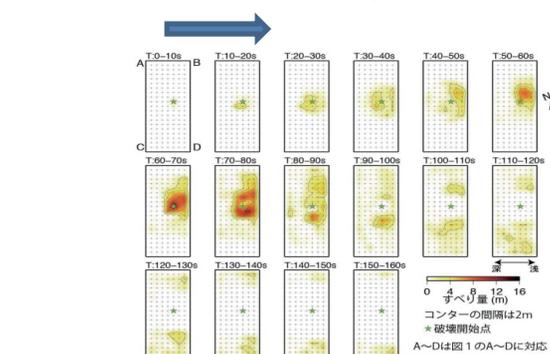
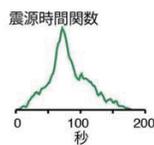
P, SH and Surface waves



近地強震記録のインバージョン

気象庁 (気象研)

最大すべり 30 m
Mw 9.0
0-60s: 震源から拡大
60s-: 南北に伝播
Total: 170 s



防災科研

最大すべり 25 m
Mw 9.0
震源の東方で最大
20-50s, 60-90sにほぼ
同一領域で大きなすべり

